

午よりまっつた

九十おといろ年は いくらごすわしと

だめだ

頭からつま先までおとろえてい

年令の友達は 男子が 二いみちう

それと 二とけりい と取降し

あつたが やせぬ しゆく

と言つて 入り 入山遊をし

見たり 入山遊をし へんが

そ う 松はしわく 山し 穂入山遊

おから 山白の

それ 大人格と 山白の

つと 山白 山白 山白

現実 山白 山白 山白

山白 山白 山白

山白 山白 山白 山白 山白

山白 山白 山白

山白 山白 山白

山白 山白 山白

山白 山白 山白

アキ とうですわ

といふ由のムードがわくわくとくる

その人だつて 今と私と同じかな

この世は寛容な場所だ人の安んずる

右の人も左の人も平等だと思つてゐる

でもさうでは ないらしい

けろおの型で区別してゐるのだ

年忘れの 何かをやるのだ

知ろのいのち

しかたない 押しこめやろう

とから自然の人はなる

年忘れは ぐやしがら

どうせ 私に年忘れとある

このバタリとから 始まるのは 笑かま

つやふしかるい

出来のニとをみやえう ひとつでいい

年忘れだつて 出来のニとを思ふたい

2022
3/7